

全国科学博物館協議会研究発表大会 発表者助成事業について

○趣 旨

全国科学博物館協議会（以下「全科協」という。）は、加盟館園の相互の連携協調を密にして、博物館事業の振興に寄与することを目的としていますが、その事業のひとつとして、加盟館園の事業運営に参考となる事例を共有するとともに、所属学芸員等の資質向上を目的とした研究発表大会を実施しています。

全科協活性化ワーキンググループの検討報告書にて指摘のあった加盟館園の財政状況の悪化と研究発表大会への参加旅費の支弁が困難である館への経費支援の必要性に基づき、平成 26 年度に「全国科学博物館協議会研究発表大会口頭発表者助成事業」が創設されました。平成 27 年度に引き続き平成 28 年度におきましても、この事業を継続して実施するものです。

なお、平成 27 年度同様にポスター発表も対象に含めて実施いたします。

○実施要項

1 応募資格

上記の趣旨を理解するとともに、以下のすべてに該当する方。

- (1) 全国科学博物館協議会の正会員のうち、会費年額が 1 万円の博物館等施設として加盟する館園に所属し、研究発表大会において、口頭発表またはポスター発表を行うことを希望する方
- (2) 口頭発表を行う場合は、遅滞なく予稿を提出できる方
- (3) ポスター発表を行う場合は、次年度の全科協ニュース 7 月号にて発表内容の紹介・報告原稿を執筆できる方
- (4) 研究発表大会に参加する経費支弁が困難な方
- (5) 全国科学博物館協議会の活動に対して、研究発表大会はもとより、その他の活動に関しても能動的に参加する意向がある方

2 助成件数及び金額

助成件数は、口頭発表 5 件程度、ポスター発表 2 件程度です。（応募状況により変更することがあります）

助成金額は、口頭発表 1 件につき 5 万円、ポスター発表 1 件につき 2 万円を上限とします。

3 助成対象

研究発表大会に参加するための往復の交通費相当額。（採択者の所属する館園から研究発表大会開催場所までの交通費のうち、往復航空券代など使途が書面にて提出できる費用。パッキング旅行の宿泊代は含むものとします。）

4 審査基準

審査に当たっては、以下の各観点を総合して順位を付したうえで、予算総額（30万円）の範囲内で上位から採択とします。

- （1）研究発表大会における発表内容が、参加加盟館園が活用可能であるなど波及効果を期待できるものであること
- （2）旅費の支弁の困難度の高さ
- （3）過去の研究発表大会での口頭発表事例が無い若しくは少ないもの

5 審査方法

上記審査基準により全科協事務局が審査を行います。

なお、審査結果については、次年度理事会において報告し、透明性を確保するものとします。

6 申請方法

・口頭発表

発表内容の予稿（案）※実際の提出期限の前の段階のもので可に加えて、経費支弁が困難な理由、助成希望金額の概算がわかる資料を付して、全科協事務局に書面にて提出してください。
※予稿の執筆要項は、発表者決定後お送りしますが、例年、6,000字～8,000字程度（42字×36行程度×4～5枚程度）でお願いしています。

・ポスター発表

経費支弁が困難な理由、助成希望金額の概算がわかる資料を付して、全科協事務局に書面にて提出してください。

7 応募の締め切り

11月30日（水）必着

8 助成対象者の決定・通知

12月上旬頃に発表の採否にあわせて書面にてお知らせします。

なお、所属長等に対して書面の提出の必要がある場合は、あらかじめお知らせください。

問い合わせ先：

全国科学博物館協議会事務局（担当：久保、江森）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

国立科学博物館博物館等連携推進センター 博物館連携室内

TEL:03-5814-9863 Fax:03-5814-9898

info@jcs.jp